



●ハタより先にカンコがエサに飛び付いてくる!?



▲カンコは1キロ前後がアベレージ



▼釣り場は神子元島周り、石廊崎沖、須崎沖などの水深60~90メートル前後



▲カサゴ類が入れ食いになる流しも



▲▼カンコとアヤマカサゴでお土産はたっぷり



▲小ぶりのホウキハタが上がった  
▶親バりと孫バりにアヤマカサゴのダブル



がら、起伏の  
激しい根周りを狙うため、まめな底タチの取り直しが欠かせない。  
(詳細は56ページ参照)

### キミの釣り目!

佐野譲船長が担当する1号船は新島沖を狙うキンメ乗合で出船。30~40センチ級主体にいい日はトップで20~30枚の釣果が上がっている。深海釣り初心者には、乗船料に貸し道具と仕掛け、エサ代が含まれるフルレンタルプランがおすすめ!



◎南伊豆手石港・愛丸 佐野 譲太郎船長



★ハリ掛かりしたマハタは根に突進するからドラグは強めの調節が望ましい



★当日最大は2キロ級。マハタの平均サイズは2~3キロ前後で6キロオーバーも上がっている

▲青野川をゆっくり下って海へ出る



▶エサのイワシは、船オモてのイセスから網ですくってバケツに移し、自席に運ぶ

▲急に水深が変わるときは、その都度船長がタナをアナウンスしてくれる



★でっかいカンコは引き味満点

# 本命マハタ&カンコ ビッグな根魚が 待っている南伊豆 好シーズンへ!

南伊豆手石港出船 写真・訓覇啓雄

南伊豆でハタ五目が好期を迎えている。当地でのハタ五目はイワシエサの泳がせ釣りになり、マハタやホウキハタ、イヤゴハタなどハタ類を本命にカンコ(ウツカリカサゴ)やアヤマカサゴ、オニカサゴなどのカサゴ類、ヒラメ、2~3キロ級のカンパチなど青物も交じるのが魅力。  
仕掛けはヒラメと同じ胴つき式だが、10キロ以上の魚も釣れるのでハリスは10~12号と太めが安心。釣り方は底から2~3メートルのタナ取りが基本

